

第三回 「将棋世界大会」 企画・概要

21 カ国で行われる厳しい予選大会の優勝者が集うこの大会は、世界最大の将棋大会であり、世界中にいるアマチュア棋士が一同に集う大会です。

■ 開催時期、場所

2009 年 11 月 13 日～15 日にニューヨークで第 3 回の将棋世界大会を行います。
13 日は世界各地の優勝招待者、自主参加者が全世界から来るため大会参加登録日とし、大会の競技日は 14 日、15 日の 2 日間となります。

■ 招待選手

21 カ国で行われる厳しい予選大会の優勝者が招待選手となる。
招待選手に関しては宿泊費の全額 (3 日分) と交通費の一部 (US \$ 500 まで) を負担します。

■ 一般参加者

一般参加者資格は、インターネット上での応募 (www.worldshogi.com) をしてくれた人は参加できます。
ただし、日本からは招待選手のみです。
現在世界各地の都市から参加希望者がおり、国際色豊かな大会となるでしょう。参加登録は 10 月 15 日までにお問い合わせ申し上げます。

連絡先ご質問は上記のインターネットからお問い合わせ申し上げます。
詳しい資料や参加申し込み用紙はインターネット上でお願いします。

大会の日程は下記の通りです。

- 11 月 13 日 (金曜日)
選手がニューヨークへ到着し、登録を行います。
- 11 月 14 日 (土曜日)
*午前中、組み合わせの発表と一般参加の予選会を行い、A、B、Cクラス分けを行います。
*午後、A、B、Cクラス別トーナメントを行います。
- 11 月 15 日 (日曜日)
A、B、Cクラス決勝戦トーナメントを行い、表彰式を行います。
- 11 月 16 日 (月曜日)
各自、帰国します。

「第三回将棋世界大会」企画書

今秋 11 月に、日本将棋連盟の全面的な協力により、「第三回将棋世界大会」を米国ニューヨークにて開催する運びとなりました。21 カ国で行われる厳しい予選大会の優勝者が集うこの大会は、世界最大の将棋大会であり、世界中にいるアマチュア棋士のあこがれの舞台であります。

将棋は平安時代に日本に伝わり、江戸時代初期に今の本将棋の形になりました。本将棋でおよそ 400 年の歴史があり、日本が誇る伝統文化の一つです。子供から大人まで楽しめる将棋は、世界の様々な国の人々が愛するものとなり、例えば、上海だけでも将棋愛好家が 12 万人に上るといわれるほど世界中に普及しています。本大会は、日本のこの伝統文化をさらに世界に推進していき、この将棋を通して更なる国際交流が広まることを期待しています。

この度は、世界 21 カ国の優勝者を招待します。世界中の多くの将棋ファンに夢を与える世界大会の成功を成功させていきたく存じます。皆様のご参加をお待ちしております。

ニューヨーク将棋クラブ



主催者・協力者

- 主催： ニューヨーク将棋クラブ
(日本将棋連盟ニューヨーク支部)
- 協賛： 日本将棋連盟、アメリカ将棋連盟
- 賛助会社： 西林株式会社

大会主旨：

本大会は、国内外の将棋愛好者の交流の推進だけでなく、日本の将棋伝統文化をさらに世界に推進していき、この大会を通して更なる国際交流が広まることを目指しています。世界において、より多くの人に将棋を理解していただき、知的スポーツにおける将棋の地位を向上させていく礎としていきます。

大会背景：

近年、将棋は世界各地で迅速に発展され、広大な棋種類の愛好者から歓迎を受けられています。現在、より多くの人々が将棋活動をやりました。大まかな統計によると、現在、50余りの国と地域で将棋団体を設立され、毎年、いろいろな将棋試合と活動を行います。将棋はすでに世界的な知力活動になりました。

アメリカでも、ニューヨークで1970年代に始まり、この30年余りの間に、アメリカ全土で6支部（ニューヨーク、ワシントンDC、ロサンゼルス、シカゴ、サンフランシスコ、デトロイト）に発展してきました。全米将棋選手権大会も今年で14回を迎え、毎年、40名以上の参加者があります。一昨年は、初めて、日本人ではない、フィラデルフィアの将棋同友会のアラン・ベーカー氏が優勝し、2008年天童将棋フォーラムに招待され、3位に入る活躍をしました。

また、全米各地で、子供将棋大会が行われており、将棋愛好家の層が世代と国を超えて広がっています。

主催者招待予定地域

1. ヨーロッパ：オーストリア、フランス、イタリア、オランダ、ノルウェー、スウェーデン、ウクライナ、ハンガリー、ポーランド、ドイツ、
2. アメリカズ：アメリカ、ブラジル、パラグアイ

3. オセアニア
4. アジア：日本、韓国、タイ、上海、香港

大会背景：

一般参加は、誰でも参加資格がありますが、日本からの参加は、招待選手のみとさせていただきます。世界各国からの招待選手は、各国の日本将棋連盟支部が公認した予選優勝者のみです。

注意事項：

1. 選手のみ、宿泊費の全額（3日分）と交通費の一部（US \$ 500まで）を負担します。
2. エントリー費は、全ての選手（招待選手を含む）が個人負担とする。
3. 代表権の譲渡や代表者の変更は、主催者の了承が必要です。尚、自己都合による宿泊延長は本人負担となります。

競技規則：

I. 組織機構

1. ニューヨーク将棋クラブ及びアメリカ将棋連盟
2. 日本将棋連盟

II. 競技情報

1. 期 日：2009年11月14日、15日
2. 会 場：ラグアディア・マリオット・ホテル

III. 競技内容

1. 競技方法：
 - 1.1 個人戦
 - 1.2 子供大会

2. 年齢、性別、段位/級位を問わず、全て、平手で対局します。
3. 個人戦：
 - 3.1 招待選手は自動的にAクラスの決勝戦トーナメントに参加します。
 - 3.2 一般参加は、予選大会で、A、B、Cクラス分けがなされます。
4. 子供大会：
 - 4.1 日本から招待したプロ棋士の指導対極など。

IV. 大会日程

- 11月13日（金）選手がニューヨークへ到着し、登録を行います。
- 11月14日（土）午前中は、組み合わせの発表と一般参加の予選会を行い、A、B、Cクラス分け。
- 11月15日（日） A、B、Cクラス決勝戦トーナメントを行い表彰式を行います。
- 11月16日（月曜日） 各自、帰国します。

V. 登録

代表派遣に関する承諾書は2009年7月31日に締め切りました。主催者の承認なしで、選手を交替することはできません。

VI. 対局要求

1. 選手は、時間通りに対局に参加しなければなりません。試合開始時に、10分以上遅れた場合は、棄権と判断し、負けを言い渡されます。
2. 対局中、二歩、打ち歩詰めなどの禁じ手をさした場合、審判長の判断によります。対局中、一方がタイムアウトになると、負けることと言われます。
3. 対局の手番は振り駒で決定されます。

VII. 序列規則

1. 決勝戦はトーナメント方式で行われます。予選は、2勝勝ち抜き方式が取られ、参加人数などにより、臨機応変にクラス分けがなさ

れます。

VIII. 競技連絡事務長
藤原康史

追加事項：

宿泊・食事について

1. 主催者が、招待選手のみ、宿泊施設を3泊分(11月13日より3日)用意いたします。食事は各自となります。
2. 宿泊ホテル ラグアディア・マリオット・ホテル
3. 当大会に参観と見学する参加者の費用が本人負担となります。

アメリカ国内での移動

1. 宿泊施設までの移動に関しては、本人負担となります。